

## 令和2年度 三松中学校における働き方改革の方針・目標・計画

令和2年4月1日

### 【方針】

教職員のワーク・ライフ・バランスのとれた生活を目指し、心身共に健康で、誇りややりがいを持って能力を発揮できる環境の整備を図る。そのために、教育の質を落とさずに長時間業務を解消できるよう、教職員の意識改革と学校・家庭・地域等との連携を図るとともに、業務の見直しと役割の分担を図りながら更なる業務改善を推進する。

### 【目標】

- ・ 全職員が「過労死ライン」とされる時間外業務時間「月80時間以上ゼロ」かつ改正教職員給与と特別措置法により定められた残業の上限「月45時間を超える教職員の割合36%以下」
- ・ 全員が「年休取得日数8日以上」

### 【計画の内容】

1	<ul style="list-style-type: none"><li>○ <u>教職員一人一人が業務改善と意識改革を図り、働き方改革に全職員で取り組む。</u></li><li>・ <u>全職員が心身ともに健康で質の高い教育活動を行うために、心身のリフレッシュを図れるようワーク・ライフバランスのとれた生活を推進する。</u></li></ul>
2	<ul style="list-style-type: none"><li>○ <u>時間管理と計画的な業務の遂行により、効率化を図る。</u></li><li>・ <u>解錠時間を原則午前7時20分～部活動終了後15分（リフレッシュデー以外の日で部活動がない日は午後5時30分）、生徒の登校時間を7時30分とする。</u> また、<u>電話連絡、相談の対応時間を原則午前7時30分～午後5時とする。また、教職員個人の携帯電話等を使用しての連絡は原則行わない。（生徒の生命や安全に関わる重大事態を除く。）</u></li><li>・ <u>学校一斉のリフレッシュデー（定時退校日）を水曜日に設定し、勤務時間終了時に全教職員が定時退校する。</u> また、PTA関係も含め、会合を水曜日に持たないようにする。</li><li>・ <u>優先順位とスケジュール管理に心掛け、週・月ごと等、計画的に職務を遂行しながら仕事にメリハリを付ける。</u></li></ul> <p>※ <u>上の解錠時間以外に業務の関係上やむを得ず必要な場合には、業務の内容と時間を管理職に申し出る。（記録簿にも）</u></p>
3	<ul style="list-style-type: none"><li>○ <u>学校内施設（校舎等）の鍵の開閉を協力して勤務時間内に行う。</u></li><li>・ <u>各自が担当する教室・施設については、責任をもって施錠する。</u></li><li>・ <u>各学年の階や校舎入り口の施錠を各学年で行う。</u></li></ul>
4	<ul style="list-style-type: none"><li>○ <u>校時程を工夫する。</u></li><li>・ <u>週初めとなる月曜日の清掃をカットし、業務の時間を確保する。このことに伴い、清掃時間を昼休み後から6時間終了後に変更し、他の曜日と授業時間帯をそろえる。</u></li></ul>
5	<ul style="list-style-type: none"><li>○ <u>会議・校内研修等における時間の効率化を図る。</u></li><li>・ <u>開始時刻・終了時刻を厳守する。</u></li><li>・ <u>定例会議は予め時間割上に位置づける。また、事前の意見収集などにより必要最小限のメンバーで会議を開催するなど、会議時間の縮減を図る。</u></li><li>・ <u>資料の事前配付と前年度からの改善点などポイントを押さえた提案や説明を行うことにより、質疑と協議を充実させ、会議の効率化と共通理解を図る。</u></li></ul>

6	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 校務分掌の計画的な取組を推進する。</li> <li>・ 担当業務の概要や内容の明確化とともに、<u>各担当者の年間を見通した取組と記録により、業務の計画性を高め、業務負担を軽減する。</u></li> </ul>
7	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ <u>学校行事等の内容や指導時間、指導方法等の見直しと精選を検討する。</u></li> <li>・ <u>学校行事の見直しを行事終了後に随時行うことにより、効率的に改善策を検討する。</u> また、簡素化を図ったり、スクラップ&amp;ビルドの視点をもって内容の似たものを見直しや精選を行ったりして、増やさない工夫を行う。</li> <li>・ <u>修学旅行を3泊4日から2泊3日に短縮する。(令和2年度から実施。)</u></li> <li>・ 熱中症の危険性も踏まえ、日常の体育学習の延長・発表の場として体育大会の内容を見直し、練習時間の縮減化や準備・片付けの時間等の確保を図る。⇒長時間練習していたピラミッドの削減</li> <li>・ 文化発表会の合唱コンクール練習指導の時間が時間内に終わるように計画する。</li> </ul>
8	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ <u>三松中学校部活動の方針に基づく活動休養日の設定を徹底する。</u></li> <li>・ 年間の活動計画と実施後の報告（記録）により、計画的な練習と休養日を確保する。（休養日） <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平日は少なくとも1日：毎週水曜日（RD：リフレッシュデイ）</li> <li>・ 土曜日または日曜日（以下「週末」という。）は少なくとも1日以上</li> <li>・ 第3日曜日「家庭の日」</li> <li>・ 各種大会やコンクール等への参加などにより、週末に休養日が設定できない場合には、2か月を1単位として捉え、8回程度の週末の休養日を設定する。</li> </ul> </li> <li>（練習時間） <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平日は2時間程度、<u>学校の休業日（学期中の週末を含む）は3時間程度とし、できるだけ短時間に、合理的でかつ効率的・効果的な活動を行う。</u></li> </ul> </li> <li>※ 大会やシーズンのON・OFFをはっきりさせると共に、生徒及び顧問の過度な負担とならないよう、<u>参加する大会等を精査する。</u></li> </ul>
9	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 時間割を工夫し、成績処理等の時間を生み出すよう工夫する。</li> <li>・ 定期テスト日前後の問題作成・採点の時間、学期末・年度末の事務整理の時間などが生み出せるように時間割の見直しを行うよう努力する。</li> </ul>
10	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 積極的・計画的な年休等の取得を促す。</li> <li>・ 夏季休業期間の8月12日（水）～8月14日（金）の3日間を学校閉庁日とし、部活動、学校施設開放などを行わないようにする。保護者には、学校だより等で学校閉庁日とその期間中の連絡体制について説明し、理解を求める。 また、年間を通じた積極的・計画的な年休取得を教職員に促していく。</li> </ul>
11	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ <u>スクール・サポート・スタッフによる効果的な事務負担軽減を図る。(水・金、月隔週)</u></li> <li>・ 作業依頼書を用いるなどスムーズな業務依頼と、段取りを付けやすくして業務を進めやすくする。 [ 印刷（授業用プリント、テスト類、配布文書等）<u>及び配付</u>、教材・教具の準備・片付け、<u>単元テストなど採点基準がはっきりしているものの採点</u>、成績入力、アンケート集計、データ入力や仕分け、<u>環境整備（資源ごみの片付けや清掃等）</u> など ]</li> </ul>
12	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ <u>学校の取組以外に教職員一人一人としての「ワン・トライ」運動を推進する。</u></li> </ul>
13	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ PTA関係会合の見直しと整理をする。</li> <li>・ 会合の回数を見直しと<u>効率的な運営</u>を行う。</li> </ul>